

予約制は事前予約が必要です。
予約可は予約なしでも受診可能です。 ※第2・第4土曜日は休診です。

	診察開始～受付終了	専門外来等	月	火	水	木	金	土
健診	市・被爆者・協会けんぽ等 各種健診、人間ドック他 ㊟乳がん健診	午前	桑原 中増	桑原 ㊟川口	廣川・中増 ㊟木村(ま)	桑原・廣川 ㊟川口	桑原 中増	1・3・5週 古江 ㊟1週 木村(ま) 中増
		午後	中増	㊟川口	古江・中増	桑原 ㊟川口	中増	
禁煙支援外来	9:00～11:30			木山				
	17:00～18:30					2・4週 木山		
内科 (当院に初めて 受診される方は 予約制では ありません)	9:00～11:30	総合診療内科	山田・廣川 高橋	吉國・橋本 山田	山田・山科 中村(晴)・田上	鷹屋・久保田 吉國・舟木(洋)	山田・山科 橋本・立本	1・3・5週 廣川・鷹屋・山田・吉國
		循環器内科	鷹屋・伊藤		鷹屋・村田		村田	
		呼吸器内科		濱田				
		消化器内科		加太・西原		西原	ウオン	1・3・5週 ウオン 中村(晴)・久保田
		糖尿病内科	森下		森下		森下	1・3・5週 森下
				大谷・木山				
	14:00～16:30			大谷		秦		
		リウマチ科			舟木(将)			
		循環器内科				鷹屋		
		呼吸器内科				2・4週 木山		
		消化器内科				西原		
		糖尿病内科				森下		
緩和ケア内科	9:00～11:30		本家	舟木(洋)	本家	本家	加太	
	13:00～16:00					田上	田上	
脳神経内科	9:00～11:30/14:00～16:30		祢津					
精神科	9:00～11:30					山本		
リハビリテーション科	9:00～11:30	○理学・作業・言語・ 物理の各療法	○	○	○	井口 ○	○	1・3・5週 ○
	13:30～16:30		○	○	○	○	○	
外科	9:00～11:30		大田垣 郷田	長嶺 中島	郷田	大田垣 中島	長嶺 郷田	1週 長嶺・郷田 3週 大田垣・中島 5週 交替
	15:00～16:30							
乳腺外科	14:00～16:30						舩本	
心臓血管外科	14:00～16:30					片山/高崎 交替		
脳外科	14:00～16:30						岡崎	
整形外科	9:00～11:30		市川・土井 濱西	田中 森	森 國崎	市川・田中 濱西	田中 土井	1週 土井・濱西(市川) 3週 田中・森 5週 市川・濱西
	16:00～18:30			1・3・5週 市川 2・4週 濱西 土井		森 古田		
小児科	9:00～11:30	㊟小児一般 ㊟予防接種 ㊟乳児健診	㊟友田 14:00～14:30 開森下 15:00～16:30 ㊟森下	㊟森下	㊟友田 14:00～16:30 1・3・5週 森下 2・4週 友田	㊟森下 14:00～14:30 開友田	㊟友田 14:00～14:45 2・4週 森下 15:00～16:30 ㊟森下	㊟1・3・5週 開吉國
	14:00～15:00							
	15:00～16:30							
	17:00～18:00							
眼科	12:30～17:00	カウンセリング	太田・芳西			太田・芳西	太田・芳西	
	9:00～11:30		高本	三笠		小松		
泌尿器科	9:00～11:30	月・木は10:00～	広島大学		山崎	広島大学	山崎	1・3・5週 広島大学
	14:00～16:30		広島大学		山崎	広島大学		↑午前も休診の場合あり
耳鼻いんこう科	9:00～11:30		大橋	大橋	大橋	大橋	大橋	1・3・5週 大橋
	15:00～16:30		大橋			大橋	大橋	↑午前も休診の場合あり
皮膚科	9:00～11:30		松尾		水野		渡邊/森岡 交替	
	14:00～15:00							
婦人科	9:00～11:30	初診(再診)	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	三田尾	1・3・5週 三田尾
	14:00～16:00	子宮がん検診	三田尾	三田尾		三田尾		↑午前も休診の場合あり

地域連携部だより

今年度は新型コロナウイルスの影響からはじまり、地域のみなさまにおかれましては、まだまだ安心できない環境が強いられていると懸念しております。

引き続き、地域の動向・みなさまの声をいち早くキャッチし、地域の中核病院としての役割を担って参ります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



広島医療生活協同組合

広島共立病院
HIROSHIMA KYORITSU HOSPITAL

http://www.hiroshimairyo.or.jp
〒731-0121 広島市安佐南区中須2丁目20-20
TEL 082-879-1111(代)
FAX 082-879-6964
E-mail kyoritsu@hiroshimairyo.or.jp



広島共立病院と地域医療機関を結ぶコミュニケーションペーパー

NET WORK

vol. 56
夏号

広島共立病院広報誌 ネットワーク 2020 Summer



PCRの大幅拡充を 広島共立病院 院長 村田 裕彦

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、緊迫した状態から一転落ち着いた状況になって参りました。この間陽性患者さんを受け入れられた病院の皆様には敬意を表します。6月に入り疑似症例も減り、マスクなどの感染防護具や消毒薬の供給もされるようになり安心して診療はできるようになりました。ご支援いただきました皆様には心より感謝申し上げます。しかしながら、経営へのダメージは大きく、第2波が起こらないのを祈るばかりです。とは言え、第2波への準備、さらに風水害の季節真只中ですので、避難所などでの感染対策や医療支援の準備も重要です。

この度のCOVID-19第1波での当院の対応は、疑似症例に対する診断と院内感染対策でした。疑似症例に関しては、担当する外来を4月9日より時間的および空間的に通常診療より分離し、近隣の先生方からのご紹介にも対応させていただきました。救急対応が必要な重症者を除くと4月に33名、5月に16名、合計49名の方をご紹介いただきました。当院としては全員にPCR検査を実施したかったのですが、2月27日に厚労省から

の事務連絡で「『医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染症を疑う』場合も行政検査を行う」ことが出された以降も、保健センターからは「肺炎がないと受けられない」とのことでした。従って、当院としては止むを得ず院内基準を「肺炎がある症例でPCRを依頼する」とこととして、積極的に胸部レントゲン検査や胸部CTを施行させていただきました。その結果、肺炎が認められた方は13名(26.5%)でした。当院が保健センターにPCRを相談した方が9名(18.4%)、そのうちPCRを適用していただけたのは7名(14.3%)でした。肺炎があっても受けとられない症例もありました。振り返れば、医師が必要と判断しているのにもかかわらずPCR検査が出来ない苛立ち、PCRが希望通りできないことの患者さんへの説明、保健センターに電話が繋がるまでの時間の長さ、依頼するための経過説明、そして回答が来るまでの待機時間などPCRにまつわる問題は、感染防護対策以上に診察医にストレスのかかるものでした。それでも病院全体では2月28日から6月11日の間に57件のPCR用の検体を採取し行政検査をしていただきました。

4月28日から始まった安佐医師会のPCR検体採取センターはとても良い取り組みです。この場合、医師からの依頼は却下されることなく適用されているようです。当院でも利用させてもらおうかと思っておりましたら5月下旬からは疑似症の方が激減していき、利用に至っておりません。

今後想定される第2波に対応するには、PCR検査が各医療機関でもっと簡単にできないといけないでしょう。検体は唾液が主流となるでしょうし、行政検査のハードルも下がることを期待いたします。当院としては、より迅速な診断のため、検査の院内実施を準備しているところです。これからしばらく続くWithコロナ時代も、引き続き皆様のお役に立てるよう努力してまいります。



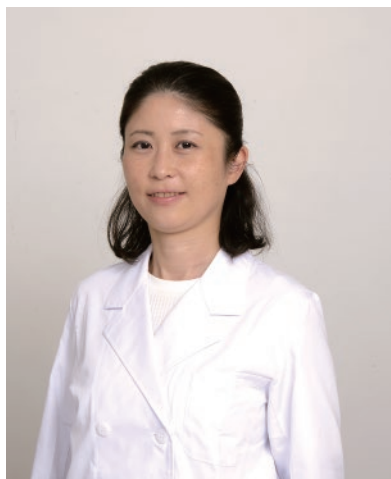
写真：疑似症例を診察する橋本医師（フェイスシールドは手作りです）

新しいスタッフが加わりました！

2020年度 新任医師のご紹介



✓ File No.1



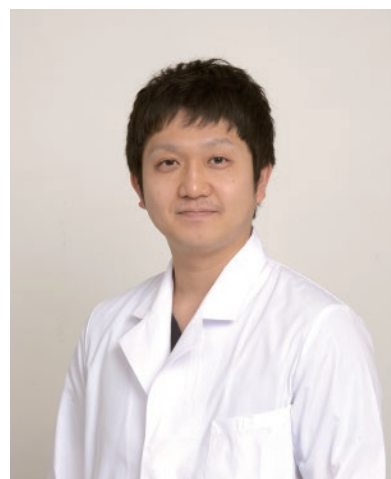
たのうえ まい
内科・緩和ケア内科 田上 舞

この度緩和ケア内科に着任しました田上舞です。よろしくお願いします。
緩和ケア内科では、がんによる症状にお困りの方の『苦痛緩和』を目的としています。私達医師が薬剤投与中心のcureを、看護師さん達が身の周りを整えるなどのcareを、他にも薬剤師・セラピストさん達とチームで関わっていきます。また、患者さんのみならず、ご家族の皆様の、特に心のサポートもさせていただきます。
今、がんの症状でお困りの方がおられましたら、どうぞご相談ください。

✓ File No.2

いぐち こうすけ
リハビリテーション科 井口 紘輔

4月より広島共立病院に赴任しました、リハビリテーション科の井口紘輔と申します。
リハビリテーション医学は、疾患により生じた機能障害に対してリハビリテーションでの機能訓練を行い、多職種と連携していかに患者さんのQOL(生活、人生の質)を高くするかを追求する学問です。入院患者さんだけでなく、外来やデイケアなどでより生活に近い場面での問題にも対応させていただきます。
リハビリテーションを通じて、安佐地区の皆様の生活をより良く変えていけるように精進していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



✓ File No.3

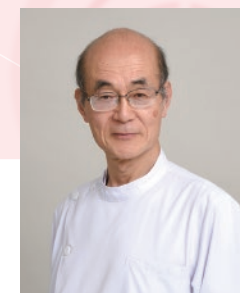


いけだ こうたろう
総合診療科 池田 晃太郎

この4月より内科・小児科で勤務させていただいております、池田晃太郎と申します。2016年に広島大学を卒業し、これまでは広島市民病院、広島大学病院などで内科疾患を中心として診療に従事して参りました。
今回広島共立病院で内科および小児科で診療する機会をいただき、誠に感謝しております。広島共立病院は地域に根ざした病院として子どもから超高齢者まで幅広く受け入れており、地域の皆さんからの期待が大きい病院であると日々実感しております。
期待に応えられるよう精進して参りますので、どうかよろしくお願いいたします。



広島共立病院 診療科紹介



よしかわ まさみ
吉川 正三 医師

リハビリテーション科

各医療機関の諸先生、スタッフの皆様方には、日頃より大変お世話になりありがとうございます。この度は、当院リハビリテーション科を御紹介させていただきます。当科は、井口紘輔、私吉川正三が常勤医師として勤務しております。広島大学病院リハビリテーション科からは、当科の日常診療業務に関して御指導頂いております。更に、広島大学から、脳神経外科専門医、脳神経内科専門医の諸先生に外来診療をお願いしております。常に、医療の良質化を図り、少しでも患者さん、御家族さんのお役に立ちたいとの一心からです。

当科では、WHOで採択されたICF(国際機能分類)に照らし、「一人の人間に対して全人的に医学的アプローチを行う」の信念で、急性期から回復期、そして予防を含む生活期まで切れ目のないリハビリテーションを提供しております。当院は、地域に根差した、一人は万人のために、万人は一人のために、one teamの総合病院でありたいと願っております。急性期リハビリでは、栄養サポートチーム、呼吸ケアチーム、褥瘡対策チーム等と連携し、全身状態を安定化し、廃用症候群防止に努めております。状態が安定化次第、必要ならば、回復期リハビリテーション病棟で更にリハビリ継続となります。回復期リハビリテーション病棟の患者さんの大多数は、急性期病院からの御紹介です。患者さんは、併存疾患を有している場合が多く、内科、循環器内科、外科、整形外科等の他診療科と緊密な連携をとって、診療にあたっております。集中的にリハビリを行い、自宅退院、社会復帰を目指します。

その為には、医療職ばかりではなく、社会福祉職である医療ソーシャルワーカーの関与が必要です。患者さん、御家族さんの社会背景を把握し、社会資源の利用等、環境の整備が極めて重要となります。当院の医療ソーシャルワーカーは当院開院(1977年)当時から、つまり介護保険制度開始(2000年)前から活躍しています。皆、熱心で、深い経験を持ち、人数も多く、

患者さんの在宅復帰に貢献しております(自慢してすみません)。

回復期リハビリテーション病棟の大多数は、脳卒中、頭部外傷、骨折の患者さんです。その為、高次脳機能障害、言語機能低下、嚥下機能低下、歩行困難等のいずれか、または、これらの複数の症状を呈しております。歩行困難に対するリハビリは理学療法士が中心となりますが、安全に移動するためには危険予知、危険回避、他者とのコミュニケーション、体力、等が必要で作業療法士、言語聴覚士の関与も必要です。また、栄養状態の改善には管理栄養士、内服薬・貼付薬・注射製剤等には薬剤師の関与が必要です。入院生活を安全、安心、少しでも快適にするためには、看護師の役割が極めて重要です。放射線科技師、臨床検査技師等、全ての職員の協力が必要です。全人的医療は、全職種、全職員の関与、協力があって、初めて可能となります。

回復期リハビリテーション病棟を退院し、在宅復帰された患者さんには、生活期リハビリ(通所リハビリ)を行っています。「元の状態に戻って帰りたい」が患者さん、御家族さんの一番の願いですが、それが難しい場合もあります。患者さんが多くの人の援助、協力を受け、そのことに感謝しながら、御自分の持っている力で可能な限り回復し、自分なりに努力した達成感を噛みしめ、「生きていて良かった」と思えるようにお手伝いさせていただきたいと願っております。リハビリテーションは患者さん、御家族さん、関係者ご一同様の自己再生、自己再発見の旅路かもしれません。

今後とも、御指導、御鞭撻の程、宜しく願い申し上げます。

発見の旅とは、新しい景色を探すことではない。
新しい目を持つことである。

— マルセル・ブルースト(フランスの作家:1871—1922)